

未知とのエンカウント 3~8人 30分

◎ゲームの概要

これは、リアクションを演じるパーティーゲームです。
各プレイヤーは自分のお題を持ち、それに遭遇した時のリアクションをします。
自分のお題を当ててもらおうか、人のお題を当てることで点数になります。
最終的に、最も点数が高いプレイヤーの勝利となります。

◎ゲームの準備

各自、好きな色のプレイヤーチップ9枚と、任意の得点マーカー1個を取ります。

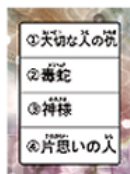


A~Iまでのアルファベット8枚とスクープチップが1枚あります。

ボードを、手の届くところに広げ、それぞれの得点マーカーを0の所に置いてください。
数字カードと遭遇カードは、裏向きの山札にしておいてください。
次に親プレイヤーを決めます。親プレイヤーは、最近未知の生物に遭遇した人です。
遭遇した人がいない場合は、任意の方法で決めてください。

◎ゲームの流れ

- ①各プレイヤーは、数字カードと遭遇カードを1枚ずつ引きます。
数字カードには、1~4までのどれか1つの数字が書かれています。
遭遇カードには、1~4までの数字と、その横にお題が書かれています。
数字カードと遭遇カードを見比べて、その数字の横にあるのがあなたのお題です。



この場合、左の遭遇カードの①がお題となります。

- ②各プレイヤーが引いた遭遇カードを、裏向きにして集めます。
そして8枚になるように、山札から遭遇カードを裏向きに加え、よく混ぜてから並べます。
配置用英字チップを、並べたカードの上部に順番に配置します。



数字カードは裏向きにして手元に置いておいてください。

- ③親から時計回りで、自分がそのお題に遭遇した時のリアクションを行います。
(お題が犬の場合、遭遇し驚き頭を撫でるなど)
この時に声は使えませんが、実際に立って動いても構いません。
演じる事ができるのは1度のみで、長くても10秒以内にしましょう。

また、以下のようなリアクションは禁止とします。

- ・お題の物まねをして伝える事。
- ・手でお題の形を作るなど、ただ単にお題の形状を伝える為のマイム。
(自然な流れの中で、触ったりして形状を伝えてください。)
- ・声を出したり、お題の答えを口パクで伝える事。
- ・同じ遭遇カード内の、違うお題を使って伝える事。

遭遇して何かりアクションするというのを、流れの中で自然に表現してみましょう。

- ④他のプレイヤーは、その人がどのカードのお題に遭遇したかを予想します。
プレイヤーが演じ終わるたびに、自分の前にチップを裏向きで左から並べていってください。
自分の番は、自分の正解のチップを置いてください。途中で並び替えることも可能です。
これは、単語を当てるのではなくどのカードかを当てるゲームです。
しかし、同じカード内の単語は、偶然当たりにくいように組み合わせています。
- ⑤全員が演じ終え、チップを並び終えたら答え合わせです。
全員チップを表にして、親から順番に演じたお題を発表してください。
演じた側のプレイヤーは、正解者の数だけ点数をもらえます。
その場ですぐ、正解数分だけ自分のコマを動かしてください。
解答者は、不正解のチップを裏向きにしておいてください。
全員分の発表が終わった後、各プレイヤーは自分が正解した数だけ(表になっているチップ)
自分のコマを進めてください。
- ⑥その後、数字カードを回収して、使わなかった山札と混ぜ新しい山札を作ります。
遭遇カードは、足りなくなった場合に、これまで使ったカードと混ぜて、山札を作ります。
これまで使ったカードが分からないように、足りなくなると予測される場合、
全員に配り始める前に、新しい山札を作ってください。
その後、次のラウンドをはじめます。

◎終了条件

基本は5ラウンド終了時に、最も点数が高いプレイヤーの勝利です。
また、好きに終了条件を決めて構いません。
全員が親プレイヤーをするまで、既定の点数をとるまでなど、
ゲーム開始前に決めてください。

◎特殊ルール

各自持っているスクープチップ(虫眼鏡マーク)を使います。
解答チップが全部正解だった場合、解答で得られる得点が倍になります。
倍になった場合、チップを裏返します。
ラウンド終了時に最下位だった場合、このチップを表にできます。